

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

网友

8 2023
月号

vol.685

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

第26回
女性経営者全国交流会 開催報告
～記念講演ダイジェスト/分科会報告～

福岡県中小企業家同友会

 広報情報部
Facebook



[デザインQR]

21世紀型
自立型
企業づくり

“福”を創る
～企業DNAを踏襲して～

いた はし まさる
板橋 優 氏 (有限会社福創工業)

有限福創工業

橋

女性経営者 in 福岡 全国交流会 開催報告

福岡同友会の創立60周年の記念行事として、6月22日(木)~23日(金)に北九州にて第26回女性経営者全国交流会(女全交)が開催されました。今回の女全交は対面では初めてとなる47都道府県すべての同友会からの参加があり、女全交史上初の900名超の参加で、盛会のうちに終えることができました。

2人目の女性社員に

私は1988年、男女雇用機会均等法の施行後2期目(2人目)として西日本新聞社に入社しました。入社時、「もし君が辞めるなら女性は育てても無駄と判断する。来年以降の女性採用は君の働きにかかっている」と言われました。しかし、仕事はとも面白く、こんな私でもVIPや長く仕事に携わ



株式会社西日本新聞社 執行役員北九州本社代表
甲木 正子氏

記念講演「ダイジェスト」
100年、200年続く企業に
カギは多様性

メディアとジェンダー

アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)には、子育ては女性がするものということも当てはまります。無意識がいけないのです。言葉にする前にちょっと考えてみてください。そうすればすべての人が「自分らしく」生きられるでしょう。

新聞の経済面では、男性に記事を読んでもらうために若い女性の写真を使っ

「そこまでして出世したいか」
子どもが3歳の時、東京支社への転勤の辞令をもらいました。「そこまでして出世したいか」と陰で言われたこともありましたが、これは経験や人間の幅を広げるとも貴重な経験でした。その後、釜山へ赴任したり営業部長や経営企画部門に就いたりしました。そこではこれまでの自分の人脈を頼ってもらうなど、「私のことを利用して下さい。ネットワークは財産です。」と、部下に惜しみなく伝えました。

「地域づくりの先頭に立つ」という理念のもと、長く続くためには多様な視点が必要だと思えます。

文章/菅原 弘(東支部)

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙



有限会社福創工業
代表取締役社長
板橋 優氏(中央支部)

詳しくは本誌9ページへ

私が板橋さんを
紹介します!



有限会社佐藤工業所
代表取締役
佐藤 晃壽(中央支部)

板橋さんとは15年来の付き合いで、私を同友会に誘ってくれた紹介者でもあります。2022年に代表取締役社長に就任した有限会社福創工業は、通常の金属(鉄・ステンレス)のほかに、銅や真鍮といった特殊な金属も加工可能という強みや、納品までの速さなど、顧客からの信頼に応えるプロフェッショナル集団です。

などの役員を受けながら、最近では経営労働委員会にも参加され、「あすなろ塾」や「2泊3日経営指針作成セミナー」にも積極的にスタッフ参加されています。頼まれると断れない優しい性格ゆえ、自分自身を追い込んでしまうのでは??と心配に陥ってしまいましたが、意外とメンタルは強く、なんでも乗り越えてしまいうる人です(笑)。5月から新体制になった今期は、副ブロック長と地区幹事の2つをこなすハードな日々になりますが、成長し続ける板橋さんをこれからも応援していきます。



撮影後記



有限会社福創工業の板橋社長をお訪ね致しました。会社は装飾金物、看板、サインの金物製作を手掛ける技術屋さんです。品質保証と信用、高い技術力と柔軟性を武器に、ステンレス、鉄、アルミの鋼材加工を手掛けています。同社の経営理念は「技術・サービスを以って福を創る」です。板橋社長は三代目社長で、真面目にコツコツと日本のモノ作りを支える現場力を感じさせる人柄の方です。素敵な写真を撮ることができました。ありがとうございました。

撮影・文/株式会社コスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)

“デザインQR”とは?

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくりアンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

第3分科会 生活者の視点からの起業

私たちの手で地域を変えてゆこう!
～溢れる想いと明確なビジョンが未来を創る!～

NPO法人発達障害サポートセンターピュア 理事長

檜尾 めぐみ 氏 (大阪同友会副代表理事・第31回(23年度)全大阪経営研究会実行委員長)



檜尾さんは、ご長男が自閉症という障害を持って生まれ、「同じ境遇にある子供たちや親御さんを救いたい!」という思いでNPO法人格を取得し、障害福祉サービス業を始めます。

経営がわからない中、紹介された同友会の障害者問題全国交流会に参加し、スローガンに共感して当日入会しました。

法人設立10年目に覚悟の借入れをし、2018年に新施設を完成させ、2022年には奈良県明日香村に「一人ひとりの特性に合った作業ができる第6次産業農業」拠点をスタートします。「自分がいなくなっても、息子や同じ境遇の人たちに変わらない日常が続きますように。安心して息子をピュアに託して、人生を終えることが究極の人生のゴール」だと話す姿を見て、ビジョンを視覚的に作り上げ実現していく檜尾さんの覚悟に触れました。

自分だけが良くなればいいのではなく、大勢の人を助けて地域と信頼関係を築き活性化する街を実現する、その実現こそが、誰もが生きやすい未来永劫続く社会になるのではないかと思います。

報告 ぶんまる 代表者 牛島 智絵 (福友愛支部)

第4分科会 男女関係なく働きながら共に育ちあう社風づくり

そうきたか…共育ちは社員の悩み解決から

株式会社コスモ不動産 代表取締役

野津 靖生 氏 (香川同友会 理事・中讃第2支部支部長)

株式会社コスモ不動産 経営企画シニアアソシエイト

亀井 時子 氏



報告者の野津さんは2代目社長。先代の頃は不動産販売が主で、2000年は売上の96.8%が売買でした。それを2022年には9.5%に減らし、賃貸業に特化した形態へと変化させました。その変化の力となったのが、全体の6割を占める女性社員たち。「賃貸業は生活者目線を持つ女性が鍵になる」と、日々社員たちの困りごとや提案へ耳を傾け続けたからこそ経営変革でした。

野津さんは、2016年に経営指針書を作成します。しかし、それは自らが思うことを形にしたのみで現実離れたもの。それを現場に生かし浸透させることができたのは、もう一人の報告者、亀井さんと一緒に参加した「経営指針書を更新する会」が契機でした。

入社時にはパート社員でしたが、今や経営企画に関わる人財の亀井さん。経営者として社員の力を信じ、声を聴き、機会を与え続ける野津さん。共に育ちあう風土こそが発展の力だ、と感じられた分科会でした。

報告 y-plan 代表者 清澄 由美子 (福友愛支部)

第5分科会 地域と共に歩む中小企業

地域の高齢化に対応するコンビニ経営

ほっとけない気持ち、ほったらかしにしない気持ちを商売につなげる

有限会社西野山 取締役

清水 美奈子 氏 (京都同友会 山科支部幹事・女性部会幹事)



清水さんは、突然の夫の脱サラでコンビニ経営を始めます。初めは嫌でしたが、様々な出会いや体験から学び、捉え方が変化していきます。従業員一人ひとりの違う背景を見るようにしたところ、辞める人がいなくなります。

さらに人として行動できる従業員を育てたい!との想いによって変わっていきます。従業員と行政など、地域との連携で(スローショッピング、スローレジ)といった独自スタイルに取り組みます。

高齢者を困った存在ではなく何を手伝ってあげたら良いか(ほっとけない、ほったらかしにしない)と考えを変化させます。高齢者対応の接客力が上がり常連のファンが増えていきます。一見効率が悪そうな接客ですが、安定した売上となっているそうです。

地域企業として企業価値がどんどん高まっていく報告内容は、想像以上で多くの学びがありました。経営者の姿勢、社員教育、地域と共に歩む企業、どれもこれも自社に持ち帰って実践に繋がる素晴らしいものでした。

報告 サンキュウ (株) 代表取締役 佐東 孝子 (中央支部)



第1分科会 人を生かす経営、ダイバーシティ経営

求めたのは社員の笑顔と健康。

これまでと異なり、そしてその先へ ~ありがとう、経営指針~

長崎海産株式会社 代表取締役

三宅 ちはる 氏 (長崎同友会 諫早支部・副支部長)



長崎で海産乾物の製造・卸売を営んでいる三宅さんは、誰のため、何のための経営なのかを悩む日々を過ごしていました。

転機となったのは福岡同友会の樋口康治監事(元代表理事・筑紫支部)との出会いでした。経営理念の大切さを知り、すぐに同友会に入会し、「私たちは幸せと笑顔と健康をお届けします」という理念を作成し実践していきました。そして僅か3年で、社員と共に開発した商品が農林水産大臣賞など様々な賞を受賞するまでになりました。

なぜ3年という短い時間で理念を浸透させ、実績まで繋げられたのか。三宅さんは、経営者も社員もお金のためではない、社員は道具ではないことに気づいたのです。社員にアンケートを取り、社員の人生に合わせた働き方を追求し、日給月給制から月給制に変えるなど、様々な働き方改革を実践しました。その結果、社員さんが積極的に商品開発や品質管理の強化に取り組んでくれるようになったのです。

社員の人生に真剣に向き合い、寄り添い、理念を追求していくことが人を生かす経営の実践であることを学べた貴重な報告でした。

報告 (株) アクセス 代表取締役社長 内田 剛玄 (福友愛支部)

第2分科会 経営革新・事業創造

Just do it! ~悩むよりまず動け

~ピンチを一転、チャンスを手繰り寄せる最強の「負けん気経営」~

株式会社みどりえ ビオ ジャパン 代表取締役

萬 英子 氏 (東京同友会女性部幹事、目黒支部副支部長、飲食部会幹事)



自他共に認める負けず嫌いという萬氏。堅調だったオーガニックのケータリング事業はコロナ禍で大打撃を受けますが、いち早く獲得したコロナ対策融資や事業再構築補助金を駆使し、新たな切り口で業績を回復します。

「十分準備ができていなくても、まず行動し、考えながら形を作る」という圧倒的な行動力と決断力で、私たちの背中を強く押された気がしました。自身の仕事を「天命」と感じ、周りの情報にいつもアンテナを張ってチャンスを手繰り寄せ、即行動します。失敗してもすぐにリカバリーし、決してあきらめない強い心を持った人だと感じました。

「苦しい時こそカラ元気」面白く「超ポジ」な考え方を実行している姿は、頭ではわかっているにもかかわらずなかなかできることではありません。

経営者は「頑張り」だけでは評価されないことや全て結果を残さなければならないということを深く気づかされた報告でした。

報告 (有)九州電機精機 代表取締役 御手洗 秀樹 (ひびき支部)



第9分科会(オンライン分科会) 中小企業とDX、導入事例と今後の課題

先代からの「人を生かす経営」への思いをDXで未来につなぐ
~社員が主体になって描いた『こえるオフィス』はこうして実現できた~

信幸プロテック株式会社 専務取締役

村松 直子 氏 (岩手同友会 理事・女性部会長)

村松さんは、学校卒業後、大手通信会社に5年間勤務し、結婚と同時に信幸プロテックに入社します。大手通信会社ではパソコンやネットワークの設定、セミナー講師などを行っていました。その時の経験を基に、入社後、新しい物を取り入れたいと言う先代の強い想いを引き継ぎ、社員と共にITシステムを取り入れ、社内のIT化に尽力してきました。

ただ、全ての社員が村松さんの思いに共感し協力してくれていたわけではありませんでした。挫けそうになる気持ちに負けずに、小さな成功体験の積み上げにより、社員と共に乗り越えられたとのことでした。社員の声に耳を傾け、働き方改革を進めることにより、社員が主体的に組織に関わり、自社の働き方の改革に繋がる好循環が築かれています。

何のために働き方改革を進めるのか、そこを理解してもらうための村松さんの行動。DXとは単なるIT化ではなく、ITシステムを導入することにより効率化され、そして洗練されたサービスの提供を行い、その結果社員の働き方の改革に繋がります。今回の報告を聞いて、まさに、ITは道具であって、DXが目的ではなく、目的は「人を生かす経営」で、その「人を生かす経営」の実践が大切であることを学ぶことができた報告でした。

報告 (株)スクラムソフトウェア 代表取締役 橘 信洋 (福友和支部)

〈オプションツアー Aコース〉

地元大学生と行く! 古くて新しい街 門司港 街歩き!!

「地元大学生と行く! 古くて新しい街 門司港 街歩き!!」と称して、レトロ地区や栄町商店街を北九州市立大学 地域創生群の学生や商店主との交流など深めながら散策しました。

バスの中では門司港クイズなどで予備知識を学びながら門司港へ向かいました。門司港駅や、食事の会場となった旧三井倶楽部のこと、バナナの叩き売り発祥の地など、バスで学んだことでさらに理解が深くなりました。

地元商店主との交流や食歩きなどを学生さんがアテンドしてくれ、和やかな雰囲気です。町を散策してもらったのではないのでしょうか。

「海賊と呼ばれた男」で有名な出光史料館など、経営者たるもの一度は訪れたい場所も堪能して頂けたと思います。

報告 (株)上津役製作所 代表取締役 小林 正広 (ひびき支部)



〈オプションツアー Bコース〉

いまだに見られない 太宰府天満宮本殿(浮かぶ森)ほか散策

おもてなし旅行太宰府コースは5名の会員で対応させていただきました。39名の参加者の半数以上が初めての太宰府体験でした。バスの中では博多弁のクイズで賑いました。今回の準備品は会員企業4社にお願いすることができ、事業の説明書も添付できました。

手作りの弁当を目と舌で味わい、梅ヶ枝餅と抹茶を楽しんだ後、天満宮宝物殿にて天満宮 権宮司 味酒安則様より、仮殿「浮かぶ森」など天満宮にまつわるお話を聞かせていただきました。

味酒様との集合写真の後、お話をいただいた場所を見学したり、また参道のお店を楽しんだり、それぞれの天満宮を満喫していただきました。

心配していた送迎時の混雑もなく、つかの間の太宰府を味わっていただきました。

報告 イエノコト (株) 代表取締役 淀川 洋子 (筑紫支部)



第6分科会 社会におけるアンコンシャス・バイアスからの脱却

企業経営における多様性尊重の実践手法を知る

~激変する社会とその時代背景を踏まえて~

女性登用企業のジェンダーに対する考え方を知る

九州旅客鉄道株式会社 博多駅長

鐘ヶ江 理恵 氏

株式会社Bピーイング 代表取締役社長 塚崎 ひとみ 氏 (玄海支部)



鐘ヶ江氏は、その時々で感じた運と縁を紹介しながら、就職氷河期入社からやる気を削がれたのも上司のジェンダーバイアスに満ちた言葉であったし、逆にやる気を得たのもバイアスのない上司からの温かい激励と仕事を任せられる喜びであったことなどを、これまでの経歴に沿って報告されました。

塚崎氏は、良妻賢母の自己イメージの囚われからご夫君急逝に伴う事業承継の悩みを乗り越えたのが、弛まぬ「学び」の積み重ねであった、と報告。さらに社員一人ひとりの違いを知り、社員一人ひとりが輝く『場』をつくるという多様性尊重経営によって、会社の業績を順調に伸ばしていかれた報告から、経営実践の大切さを改めて実感させられました。

アンコンシャス・バイアスの中にこそ人を生かし、生産性を上げるヒントが眠っています。当たり前とされている基準に受け身で臨むのではなく進化する未来に向けて自分自身を変革するためには力が必要であり、まさに経営者やリーダーの出番である、との松尾憲親座長のまどめに、大いに顔かされ刺激を受けた素晴らしい報告でした。

報告 野中・西村法律事務所 弁護士 世良 洋子 (東支部)

第7分科会(見学分科会) 6次産業化が生み出す新たな挑戦

「人間万事塞翁が鶏」

~中小企業の生き残り戦略は行動力と挑戦!~

有限会社日中育雛場 代表取締役 畠中 五恵子 氏 (飯塚支部)



日中育雛場は、採卵鶏の飼養、加工、販売、農産物生産などを営み、早くから6次産業化のモデルケースとなる取り組みをしている企業です。現地見学会の移動中のバス内で日中育雛場の取り組みや特長、内部の様子などが撮影された過去のテレビ番組を視聴しながら予習を済ませ、パドドゥ・ル・コトブキにて畠中さんの報告を聞いた後、育雛場に併設するお菓子の加工場と物産店の見学というスケジュールで動きました。報告では、市場が縮小し大手化が進む養鶏業において、生産、加工、販売という6次産業化に早くから取り組み、今では市場創造、社会との共生という10次産業化に取り組む畠中さんの奮闘が語られます。シェアを競わず同業者と共に市場全体の拡大を図ると、先代から受け継ぐ共存共栄の理念に基づいた経営姿勢は、数年前の落雷火災による鶏舎全焼の被害時にも近隣からの協力援助となって結実します。

また、持ち前の度量と機敏さで新規事業に積極的にチャレンジし、数々のピンチを乗り越えてきており、正に報告テーマの「塞翁が鶏」の通り、動じない経営者の姿勢を学ぶ分科会報告となりました。

報告 (株)アール・ツーエス 代表取締役 森 慎吾 (福友和支部)

第8分科会(オンライン分科会) 女性部のあゆみとこれから

自社と自分とみんなの成長のために ~歴史から未来を読みとく~

有限会社ソフィア企画 代表取締役

石塚 智子 氏 (中同協女性部連絡会副代表、愛知同友会広報部副部長)

株式会社キャピタルコーポレーション 代表取締役

村井 由香 氏 (中同協女性部連絡会副代表、広島同友会副代表理事)



石塚さんは1991年に愛知同友会に入会。起業のきっかけは女性の雇用を守るためです。35年間女性社員だけの雇用で経営を続けています。村井さんは2004年に事業を承継し、2010年に広島同友会に入会しました。女性部リーダーとしての学びで、コロナ禍の中でも倒れない会社を作ることができました。女性部(当時、婦人部)は1970年頃、愛知同友会の丹羽スミ子さんが、経営者夫人の学ぶ場の必要性を発信したことが始まりです。先輩たちは50年間、同友会理念に基づき活動し、広い視野で、多様性を受容し、課題に取り組んできました。今ある課題を解決したら50年先の女性部は形を変えているかもしれません。

男性社会の価値観でできた「当り前の基準」を見直し、それを変えるには思い切った手段と力が必要です。「運転席と助手席」の例えにあるように、運転席に座るのは男性だと無意識に考えると、女性が運転席に座ることは簡単ではありません。しかし、自ら運転席でハンドルを握りリーダーシップをとることが、無意識の自分を変えていくのだと気づいた報告でした。

報告 (株)エム・エス・ピー 代表取締役 縄田 由希子 (南支部)

女性経営者 全国交流会in福岡を終えて

実行委員長 中原亜希子 (ひびき支部)
山田 秀樹 (福友愛支部)



2年間にわたり準備をしてきた女全交当日の朝、実行委員長の2人は、不安や心配は全くなく、わくわくした気持ちで全体朝礼をすることができました。
全体朝礼後もそこはかといゆったりとした充実感たっぷりの時間が流れ、実行委員の皆様すでに感謝の気持ちが沸き上がってきたことと、ああ！これは成功間違いなし!!という確信が持てた初日の朝でした。
こんな状況で当日を迎えられたのも部長をはじめ、実行委員の皆様チームワークの良さや準備の段階で仮説を立ててあらゆることを想定した上での会議がなされた結果だと思っています。
福岡から全国の同友会にD&Iを進めていく女全交にしたい！という思いが

ブレずに、各部長がその「軸」から迷子になることなく、「何のための」女全交かという目的が明確だったこともあつぱれでした。それは毎回、会議でもD&Iを学ぶ時間として活かされていましたので準備段階も学びの場になり充実した時間となりました。
成果もありたい数字が残せました。26回の女全交で過去最高の参加者数(907名)。47全ての都道府県からの参加

これらの成果も実行委員会のみならずがやらされ感などなく、楽しく学べる組織づくりをしてきた結果だと思っています。
私は、経営もこのように一人ひとりの強みや個性が発揮できて、なおかつ主体的なチームで動く、気が付けば期待以上の成果が出せるという体験をすることができました。こうした実行委員会のような組織をつくるという目標が、この大会の実行委員長をすることで掲げることができたことも事実です。
この体験、そしてここにいる仲間から新しい時代を創っていくぞ！という動機付けをされ、「明るい未来」を想像しながら女全交を終えての振り返りをしました。
皆様と素晴らしい時間が過ごせたことに心より感謝申し上げます。



”福“を創る 企業DNAを踏襲して



今回の自立型企業の訪問先は、大野城市にある溶接加工業の(有)福創工業です。代表取締役社長の板橋優さんが出迎えてくれました。業務の加工工程は、切る・曲げる・溶接・穴あけです。「扱う素材は、鉄・ステンレス・アルミ・真鍮・銅などです。特に真鍮と銅は溶接の技術が難しく、ニッチな市場なので扱う企業も少ないためわが社の『強み』と言えます」と板橋さんは話します。
そもそも真鍮とは、銅と亜鉛を混ぜ合わせた合金を指し、別名「黄銅(おうどう・こうどう)」と呼ばれます。強さとしなやかさのバランスが取れた金属です。身近なところでは5円玉やガステーパーのバーナーヘッド、音楽器にも使われます。英語でブラスと言いますが、ブラスバンドはここからきています。



営業エリアは福岡市及び周辺地域で、取引先は内装業者・看板業者・工務店・木工業者です。
主な製作物は店舗の内装金物、小型・中型看板、建築金物で、具体的には商業施設のらばーとやゆめタウン、イオンなどに納められています。

取材／広報部
文章／菅原 弘(東支部)
写真／富谷正弘(玄海支部)



有限会社福創工業 代表取締役社長 板橋 優 氏 [中央支部]

三代目社長に就いた板橋優さんは、会社に根付く社風を成文化し、さらに自分の思いも付け加えました。全社一丸の経営に挑んでいます。

間もなく創業50年

父親の太吉さんは、もともと家具屋に勤めていました。昭和50(1975)年に独立して創業させました。

昭和52(1977)年には板橋さんが誕生します。家業を継ぐ意思はないと伝えて大学を卒業後、ガソリンスタンド、物流業での事務職、空港などで働きまし

た。父親が会社の経営で悩んでいると知り、平成21(2009)年32歳の時に後継者として入社するのです。



実は、父親は同友会(中央支部)の会員でした。板橋さんもゲストとして幾度となく参加しその流れで入会しました。平成23(2011)年のことです。ある会員さんから、「同友会に入って会社をどうしたいのか」と尋ねられて、明確に答えられない自分がいました。そこで2時間ほど説教されたと言います。すぐさま『あすなる塾』と『経営指針作成セミナー』に参加するのです。

経営理念をつくる

(有)福創工業には成文化された経営理念はありませんでした。しかし、初代がいつも口癖のように言っていた言葉がありました。

『期待に応えるのは当たり前！』
期待以上のモノを創る!!

あすなる塾でそれを経営理念にしました。

初代は決して縛り付けるタイプではありませんでした。営業畑出身でお客様のことを大切に考えており、お客様に満足していただければ、その結果、売上になり利益が生まれるという考えです。

板橋さんはその後、経営指針作成セ

同友会に入る



ナリーにも参加し自社の経営を見つめ直しました。平成24(2012)年、平成27(2015)年、令和3(2021)年と合わせて3回参加しました。「自分の支部からの参加者をもっと増やしていきたいですね」と本音も出しました。

その後、支部の垣根を越えて西支部の『ワンシート作成セミナー』にも参加しています。こうして学びを深めていく中で、父から受け継いだ企業DNAを踏襲しつつも、自分の思いを表して経営理念に次の1項を付け加えました。

『技術サービスを以って、福を創る』

もともと、社名の福創工業の『福』は福岡という地名とともに『幸福』も表すのです。

『お客様の期待以上のことをする』
というのには優先順位がある

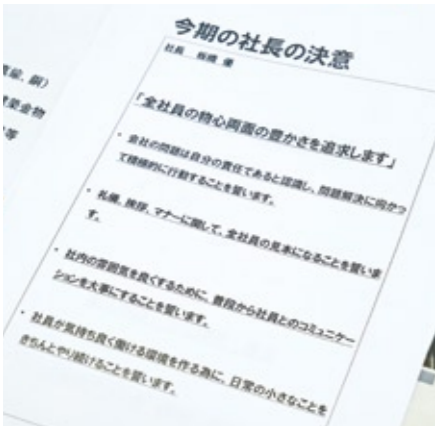
感を示す意味もあります。

HPを通じて、熊本の業者から沖縄のホテルの物件を受注できました。

三代目就任

父親は平成24(2012)年に専務・工場長の谷さんに二代目社長になってもらうことにしました。令和4(2022)年に板橋さんが三代目社長になり、父親と谷さんはそれぞれ相談役と会長になりました。承継は非常にスムーズにいきました。

就任当時、数字(売上)をつくらなければならぬという使命感やプレッシャーを感じていました。繁忙期、大分



『お客様の喜びが社の喜び』
追求に努めます』

と宣言しています。具体的には「給料とやりがい」と板橋さんは社員に話しています。

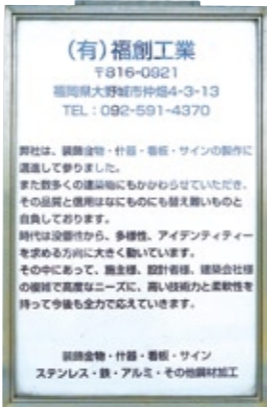
また100年企業を目指すとの明記もありますが「これは通過点と言います。業者に納品しますが、現場に取まったところを実際に見に行き、確認をして社内フィードバックしています。こうした実績の積み重ねが長い歴史につながっていくものと信じています。

営業戦略

製作物は規格品ではないので、お客様に具体的なイメージを持ってもらうために、博多支部の古川淳一さん(有)ニッコ(ネット)に協力してもらいチラシ作成しました。

「プロにお任せください」とのキャッチコピーをして「こんな看板、こんな金物が欲しいという要望にお応えします」とうたっています。

さらにホームページを作り、お客様を誘導するようにしています。鉄工所ではあまりホームページを持つところがないかも知れませんが、企業としての存在



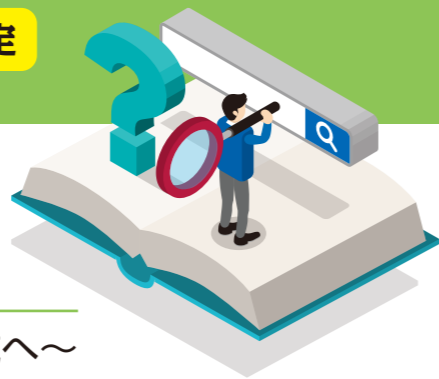
有限会社福創工業

創業 1975年10月21日
住所 大野城市仲畑4-3-12
電話 092-591-4370
従業員数 8名
事業概要 店舗装飾 看板金物製作 ステンレス板金金物製作。

<https://fukusou-industry.com>

福岡同友会 創立60周年記念誌 鋭意編纂中！

2023年秋 発行予定



コンセプト

「新たな飛躍へ！」

～先人の経験・知恵に学び、2030ビジョン達成へ～

福岡同友会創立60周年記念事業のひとつである「創立60周年記念誌」の発行に向けて、現在鋭意編纂中です。今回の記念誌は福岡同友会が60周年を迎えた現在の到達点と、そこに到達するまでのあゆみについて、「先人の経験や知恵」を紐解いていく内容です。コミカルなキャラクターが登場する4コマ漫画や図解も挿入しながら、堅苦しくならず、気軽に読んでいただけるように工夫しています。

また、約100社の会員寄稿による、「2030ビジョン達成」に向けた、さまざまな取り組みも紹介しています。福岡同友会60年の活動だけでなく、今後の経営のヒントも学べる教本のような記念誌です。

県内4地区から選出された会員、事務局、外部アドバイザー、制作会社で月2回の編纂委員会を開催しながら、記念誌づくりは佳境に突入しています。ご期待ください。

(創立60周年記念誌編纂委員会)

2023年度 第2回 理事会だより

開催日時 2023年6月28日(水) 14時30分～16時59分
会 場 振興センタービル401会議室
出席数 35名(出席率87.5%) 議 長 松木 祥也

○定時総会(社員総会)について

第61回定時総会の振り返りを行いました。
第62回定時総会は下記の通り開催することとなりました。

- 日程: 2024年5月13日(月)
- 会場: リーガロイヤルホテル小倉

○会員の動き

【経営革新計画承認企業】

●2023年5月(県54件/うち同友会会員・企業1件)
(有)双葉屋旗店 伊藤 一義 氏(北九州支部)
<テーマ>
本染めによる新規商品開発と縫製部門の強化
による既存市場の浸透と新たな顧客の開拓

※累計で福岡県全体では9,381件、会員企業は延べ552件。

【表彰】

●同友エコ2022-2023受賞企業

●環境経営委員長賞
(株)大匠建設
井上 真一さん・倉重 竜祐さん(博多支部)

●外部審査委員長賞
(株)東洋硬化
小野 賢太郎さん(久留米支部)

●奨励賞
(資)こちら総務部
四ヶ所 十郎さん(有明支部)・前間 彰太さん(久留米支部)
(株)ヒューマンライフ
中山 英敬さん・高橋 俊治さん・西原 琢也さん(南支部)

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

「パートナーシップ構築宣言」を作成、公表しましょう！

これは、取引先との共存共栄、望ましい取引慣行を推進するために国が呼びかけてすすめている制度です。福岡県では、2023年2月27日、服部知事の呼びかけに応じて同友会を含む13の経済団体、中小企業団体で「価格転嫁円滑化に関する協定書締結」をしました。

さらに、2023年5月16日、経済団体、中小企業団体、労働団体、行政機関23団体による「取引適正化推進フォーラム福岡大会宣言」を採択し、この動きを進めています。

現在すでに多くの会員企業が宣言しています。さらに多くの会員みなさんに「パートナーシップ構築宣言」作成、公表を呼びかけます。

「パートナーシップ構築宣言」ポータルサイト <https://www.biz-partnership.jp>

取引先と共存共栄の関係を築こうとする経営者の皆様へ

「パートナーシップ構築宣言」を 作成・公表しませんか

①取引先との共存共栄の取組や、「取引条件のしわ寄せ」

防止を代表者の名前で宣言します。

以下の項目について、企業の代表者の名前で宣言します。

- サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携
- 親事業者と下請事業者の望ましい取引慣行（振興基準※）の遵守
- その他独自の取組

※下請中小企業振興法に基づく基準

<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/shinkoukijyun.htm>

②「宣言」はポータルサイト上に公表されます。

- (公財)全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイト
(<https://www.biz-partnership.jp>) に提出すると、「宣言」が掲載されます。

※「振興基準」に違反し、主務大臣の指導・助言を受けた場合など、「宣言」を履行していないと認められる場合には、「宣言」のサイトへの掲載を取りやめることがあります。

③「宣言」企業は「ロゴマーク」を使うことができます。



<ロゴマークに込められた思い>
大企業と中小企業がうまく噛み合い、共存共栄していく

④一部の補助金について加点措置を講じます。

- 対象となる補助金については、ポータルサイトをご覧ください。

【宣言】の内容について

未来を拓くパートナーシップ構築推進会議事務局
●内閣府政策統括官付
参事官(産業・雇用担当)付 03-6257-1540
●中小企業庁企画課 03-3501-1765

【宣言】の提出・掲載について

●(公財)全国中小企業振興機関協会
03-5541-6688
提出先URL: <https://www.biz-partnership.jp>



4 金 18:30~20:30 糸島支部 8月例会

夏祭りって感じの、8月例会(納涼会)
 ■ 清香園糸島店 糸島市潤3-25-12 ☎092-324-2929
 ■ 草野 将氏 株式会社まちのえき 代表取締役 (糸島支部)

16 水 18:00~22:00 東支部 8月納涼例会

自分も相手も大切に作る会社を創る
プロが教える職場で役立つビジネスマナー
 ■ ソラリア西鉄ホテル福岡
福岡市中央区天神2-2-43 ☎092-752-5555
 ■ 江崎 智代氏 株式会社IRODORI 取締役 (東支部)
 ■ 近藤 みなこ氏 近藤みなこスキルアップ・ラボ 代表者 (東支部)

16 水 18:30~21:00 北九州支部 8月例会

あなたはPDCAをどのように理解し活用していますか
 ■ コムシティ大会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
 ■ 重松 和孝氏
有限会社コンサルティングオフィス 代表取締役社長 (飯塚支部)

17 木 18:30~21:00 中央支部 8月例会

女性経営者のチャレンジと実践
 ■ 天神チクモクビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
 +WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
 ■ 木原 さおり氏 株式会社メロウ 代表取締役 (中央支部)

17 木 17:00~21:30 筑紫支部 納涼会

ブロック対抗歌合戦!
 ■ ステージカラオケ唄い亭
筑紫野市二日市中央3-1-5 ☎092-921-6710

17 木 18:00~21:00 福友愛支部・福友和支部

福友愛支部&和支部 合同納涼例会
 ■ 八仙閣 博多駅東2-7-27 ☎0120-489-451

17 木 18:30~21:00 ひびき支部 8月例会

同友会で学ぼう!
同友会理念と歴史を学ぶ
 ■ コムシティ大会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
 ■ 小林 正広氏 株式会社上津役製作所 代表取締役 (ひびき支部)

17 木 18:30~21:00 りょうちく支部 8月例会

■ 会場、他未定
 ■ 報告者未定

18 金 18:30~20:30 西支部 8月例会

西支部納涼会
 ■ ピアード・アメリカン ハーフトップ
福岡市中央区赤坂1-9-22-7F ☎092-715-2220

18 金 18:30~20:40 久留米支部 8月例会

久留米支部納涼会
 ■ 萃香園ホテル 久留米市榊原町87 ☎0942-35-5351

21 月 18:30~21:00 玄海支部 8月例会

Time is money
あなたは経営者として社員の時間管理を出来ていますか?
 ■ 天神ビル11階9号会議室
福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
 ■ 隈 教暁氏 あかつき社労士事務所 所長 (青年支部)

21 月 18:30~21:00 田川支部 8月例会

会社の発展には社員の定着と自主性が不可欠
経営者の役割は社員を「その気」にさせること
 ■ 田川青少年文化ホール大会議室
田川市平松町3-36 ☎0947-44-6470
 ■ 岡崎 隆氏 株式会社オーザック 取締役会長 (広島同友会)
 ※のおがた支部・飯塚支部は、田川支部例会に振替

22 火 18:00~21:00 福博支部 8月例会

福博支部仲間づくり交流会・納涼例会
This is 福博!
 ■ ピエトロ・セントラーレ 福岡市中央区天神3-4-5 ピエトロビル 1F
 ■ 高谷 幸一氏 株式会社ユニティ 代表取締役 (福博支部)
 ■ 橋口 麻友子氏 ウェルビクリエイト 代表者 (福博支部)
 ■ 新島 栄晃氏 株式会社ファーイースト 取締役 (福博支部)
 ■ 田上 恭由氏 株式会社ワイコム・パブリッシングシステムズ 代表取締役社長 (福博支部)

22 火 18:30~21:00 博多支部 8月例会

【聴き出すこと】が企業の発展につながる!!
~経営者に求められるコミュニケーション能力とは~
 ■ 天神ビル11階9号会議室
福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
 ■ 降旗 美香氏
有限会社Miyamaコーポレーション 代表取締役 (福友愛支部)

22 火 18:30~21:00 南支部 8月例会

社員に会社を好きになってもらうには
~経営者のマインド、取り組みについて~
 ■ アクア博多A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8 3F ☎092-733-1310
 ■ 清家 政彦氏 セイワパーク株式会社 代表取締役社長 (南支部)

22 火 19:00~21:00 大牟田支部 8月例会

利益配分と経営基盤の仕組み
 ■ 大牟田市文化会館 大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131
 ■ 植原 憲一氏
株式会社カラーリングファーム 代表取締役 (りょうちく支部)

22 火 14:00~16:00 FAST8月例会

食の事業者にとってHACCPは価値向上
 ■ アクロス福岡
福岡市中央区天神1-1-1 ☎092-725-9111
 ■ 中田 佳孝氏 株式会社ハビクロ 社長

23 水 19:00~21:00 青年支部 8月例会

目標達成のための事業計画書!
良い事業計画書作成のポイント~
 ■ アクア博多 福岡市博多区中洲5-3-8-3F ☎092-733-1310
 ■ 辻本 聡氏 アップスマイル税理士法人 代表者 (福友愛支部)

25 金 19:00~21:00 かすや支部 8月納涼例会

2023年度上半期振り返り
夏の疲れを吹き飛ばそう
 ■ 竹乃屋福岡空港店
福岡市博多区下臼井778-1 福岡空港国内線3階 南側
 ■ 参加者全員

25 金 18:30~21:00 環境経営委員会 8月勉強会

体験して学ぼう!! SDGsカードゲーム勉強会
第2講「SDGsアウトサイドイン」
 ■ 同友会会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11F
☎092-686-1234
 ■ 徳永 憲司氏 合同会社ふうど 代表社員 (博多支部)





会員 Pick up!

1965年入会の諸岡昭三郎さんに聞く



取材担当：貞池 龍彦(中央支部)

昭和3年(1928年12月)生まれの諸岡さんは現在、94歳で現役最年長の会員です。1965年に93番目に入会されたとのこと。現在のKOHŌ(株)(北九州市八幡西区)の前身である(株)九州機関紙印刷所の創業者です。永年、福岡同友会の広報に携わって来られたので、広報部会では同友会の生き字引として、指導を仰いで参りました。

入会当時、会員数は100名足らずだったそうです。北九州では小倉の桜井さん、浜村さんたちが中心になって活動をされていました。私(貞池)が同友会に入会した平成一桁の時代、諸岡さんが代表理事をされていて、今でも壇上の諸岡さんの姿が印象深く残っています。

同友会入会後の諸岡さんは、経営については文田さん、運動に関しては鳥越さんから学びます。特に文田さんの経営感覚はすばらしいものがあったそうです。三菱の鯨田炭鉱で鉱夫をやった後、印刷業に携わった文田さんは常に新しい事業に目をつけては、奥さんともども次々と事業を展開されていったそうです。近代ビルを建てられたときは、銀行も一緒に入居させてテナント誘致を優位に進める、最上階は展示会場や結婚式場に活用するなど商売上手な方でした。今、みなさんが胸にしている会員バッジは鳥越さん、文田さんが全国に提案し、採用されたものです。人が走っている姿をモチーフにしています。

「今、北九州の経済は大変厳しい。井筒屋もなくなり商店街が軒並み寂れ、八幡民商も会員が3分の1に激減している。黒崎商店街に11軒あった時計屋は3~4軒が残っているだけ。県下に300社あった印刷組合の会員も今では35社になっている。工場で働く労働者が減ったことで、北九州の人口減少に歯止めがかかりませんね。」と、厳しい表情をされる諸岡さんでした。

今では毎月発刊されている月刊同友ですが、当初は号外として不定期に出されていたそうです。それが同友会ニュースとなり、現在の月刊同友になりました。2007年には500号が発刊され現在に至っています。この間、諸岡さんは中同協においても広報活動をリードされてきました。諸岡さんの広報活動における4つのスタンス、「現場主義」「会員目線」「同友会理念のフィルターを通して見る」「参画」は現在でも広報活動の原点となっています。

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法 郵送、メールいずれも可。
表題に「月刊同友 会員からの投稿」
とご記載ください。

テーマ 環境問題や、社会貢献、
例会の様子、地域イベントなど、
内容は自由です。

送付先 郵送/下記「月刊同友」編集部まで
メール/ s_asahi@fukuoka.doyu.jp
(福岡同友会事務局 旭まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

[北九州地区センター]

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

[県南地区センター]

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



[デザインQR]

今月の「月刊同友」はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。
よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切8月31日(木)